

事業名	予告篇で盛り上げる東京2020オリンピック競技大会セーリング競技江の島開催事業		
団体名	NPO法人 湘南遊映坐	担当課名	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
事業期間	2018年(平成30年)4月1日～2019年(平成31年)3月31日		
事業費	2,036,199円(うち藤沢市負担金2,000,000円)		
目的	<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セーリング競技会場である江の島において、藤沢市と市民がいかに受入れ体制を進めたのか、市民目線から、後世へアーカイブ記録映像集を残す。</li> <li>・順次記録映像を公開し、本大会に向けて市民の気運を高めるとともに、ヨット文化の普及・啓発を図り、マリンスポーツの街「藤沢」の知名度向上にも貢献する。</li> </ul> <p>&lt;協働の目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の予告篇制作の専門性、人脈等や取材・執筆・撮影・編集・発信ノウハウを生かし、質の高い映像を制作し、市の持つ広範な手段を用いて、より多くの人々に向けて発信する。</li> <li>・地元藤沢のNPO法人との協働により、市民目線で地に足の着いた記録映像を撮影することができる。</li> </ul>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベント、市民ボランティア、セーリング選手らの動きを映像に記録する。</li> <li>・短篇映像(特報2本と本予告2本)を合計4本制作し、ホームページやSNS上で順次公開・発信する。</li> <li>・予告篇映像に関する特集記事を計2本制作する。</li> </ul>		
達成度・成果・効果	<p>&lt;事業の達成度&gt; 団体 100% 担当課 80%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作した映像は、湘南ベルマーレ主催イベント(来場者数 約10,000人など)等で放映。また、庁内各課の会議での放映実績もあり。</li> <li>・ネット上への映像及び特集記事の掲出、庁内デジタルサイネージでの放映を行った。</li> </ul> <p>制作: 予告篇映像4本(特報2本, 本予告2本)、特集記事2本、使用音楽3曲  記録: 平成30年度の東京2020大会セーリング競技大会に関連する市内のイベント、市民ボランティア、選手らの取り組み等  活動: 撮影計83日間、編集計73日間、打ち合わせ等計61回</p> <p>&lt;協働の達成度&gt; 団体 75% 担当課 80%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の予告篇制作のノウハウ・人脈を生かして成果物を完成できた。</li> <li>・地元NPOの利点を生かし、市民目線の映像を制作することができた。また、市担当課からの情報に基づき、東京2020大会に関連する市内イベントの撮影ができた。</li> <li>・情報共有を密に行い、団体が映像と記事の制作、市がコンテンツ発信と広報周知といった形で分担し、気運醸成を図るといった目的に沿った映像を、制作・発信できた。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>湘南ベルマーレ主催イベントでの掲出の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>『TOKYO2020 SAILING ENOSHIMA 予告篇』動画公開中!</p> <p>2020応援団 藤沢ビッグウェーブ始動!</p> <p>TOKYO 2020 SAILING ENOSHIMA</p> </div> </div> <p>東京オリンピック・パラリンピック開催準備室の特設ホームページ、庁内サイネージ等で作品を掲出中</p>		
課題・対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作スケジュール、内容の修正等において、市担当課との情報共有、連携、編集方針の明確な確認作業の不足から、行き違いや認識のズレがあった。また、内容とスケジュールに変更が生じたため、団体の負担が増大した。2年度目は、団体と担当課との情報共有と各工程の細かなスケジュールの事前の設定により業務を進める。突発的な変更には、柔軟、臨機応変に対応し、作業量のバランスを取っていく。</li> <li>・映像の公開についても、有効的で適切な機会を逸した。映像の公開、活用方法については、市民応援団等とも連携し、適切なタイミングを計りつつ、より効果的に発信していく必要がある。</li> </ul>		